

令和3年度教育課程研究集会
小学校 社会

社会科の指導におけるICTを活用 した学習活動の充実について

令和3年8月

奈良県教育委員会事務局学校教育課 義務教育係

指導主事 野瀬 彰

本日の内容

1 社会科の指導と学習活動

2 ICT活用の実践発表

奈良市立都跡小学校 山方貴順先生

3 まとめ

育成すべき資質・能力の三つの柱

学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

何を理解しているか
何ができるか

知識及び技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力、判断力、表現力等

三つの柱に沿った資質・能力を育成するために、どのような学習活動が必要か。

三つの柱に沿った資質・能力を育成するためには、課題を追究したり解決したりする活動の充実が求められる。社会科においては従前、小学校で問題解決的な学習の充実、中学校で適切な課題を設けて行う学習の充実が求められており、それらの趣旨を踏襲する。

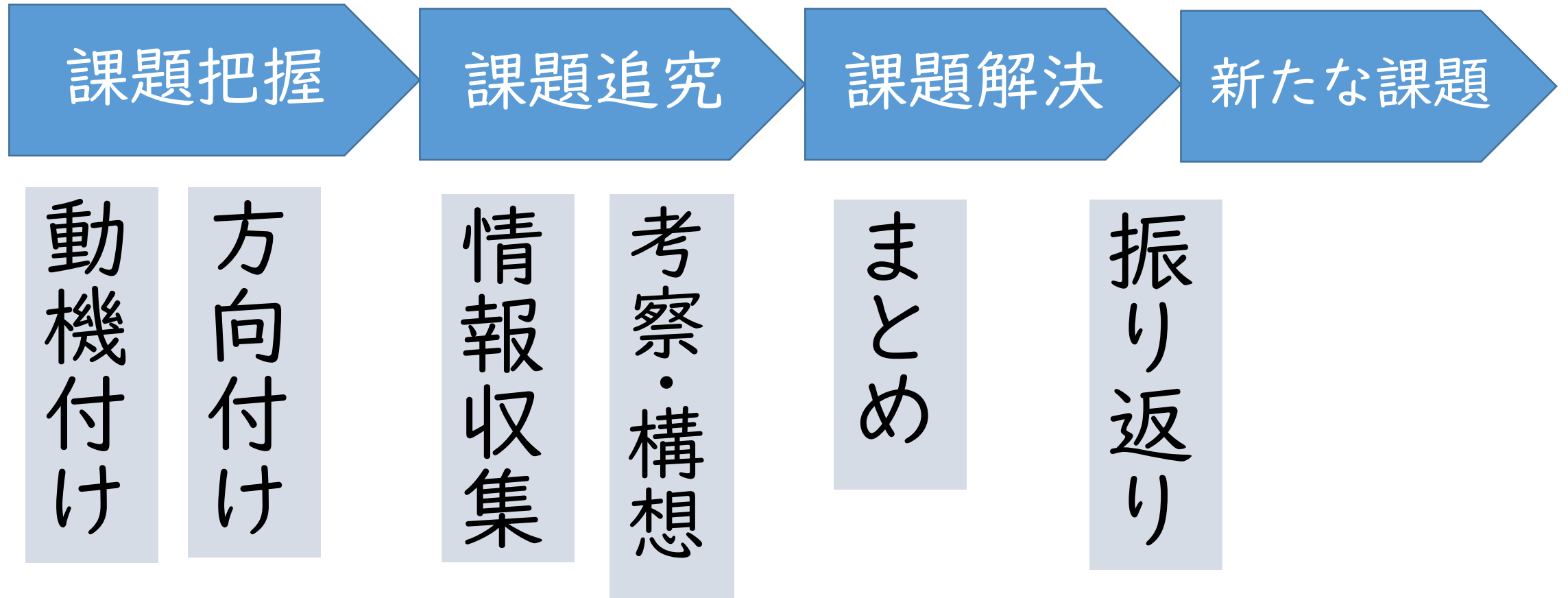
(小学校学習指導要領 解説 社会編 P6)

課題を追究したり解決したりする学習活動には、どのような学習過程が考えられるか。

そうした学習活動を充実させるための学習過程の例としては、大きくは課題把握、課題追究、課題解決の三つが考えられる。また、それらを構成する活動の例としては、動機付けや方向付け、情報収集や考察・構想、まとめや振り返りなどの活動が考えられる。

(小学校学習指導要領 解説 社会編 P6、7)

学習過程のイメージ



「主体的・対話的で深い学び」の実現

問題解決的な学習におけるICT活用について

内容の取扱いについての配慮事項

(2) 学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して、情報の収集やまとめなどを行うようにすること。
また、全ての学年において、地図帳を活用すること。

(小学校学習指導要領 P62)

- ・ICTを活用した学習場面を想定し、社会科の授業を構成する。
- ・ICTの活用を「主体的・対話的で深い学び」の実現に結びつける。

山方貴順先生の実践発表

- 社会科の資質・能力の育成につながっているか
- どのような学習場面で活用しているか
- 効果的に活用しているか
- 自分ならどのように活用するか

山方先生の実践発表より

①資料提示

ICTを使うことにより、社会科の重要な学習活動である「資料の読み取り」を効果的に行うことができる

②振り返り活動

問題解決的な学習の「振り返りの場面」でICTを活用し、振り返りを容易で構造的に行うことができる

③双方向性を生かした活動

話し合いの道具としてICTの特性を生かし、学習課題についての「話し合い活動」を充実させることができる

今日のまとめ

- 課題解決的な学習の中で、ICTを活用する
- ICT活用が効果的であるかどうかを吟味する
- 社会科の学習活動の充実を目指し、ICT活用の工夫しましょう